

---

三田市  
在宅介護実態調査  
報告書

---

令和5年7月



## 目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 留意点	1
2. 対象者の属性	2
(1) 回答の記入者	2
(2) 世帯類型	2
3. 家族等による介護について	3
(1) 介護の頻度	3
(2) 主な介護者の属性	4
(3) 主な介護者が行う介護の内容	6
(4) 介護離職	8
4. 支援・サービスについて	13
(1) 介護保険サービス以外の支援・サービス	13
(2) 介護保険サービス	15
(3) 施設等への入所・入居の検討状況	16
(4) 医療的な支援・サービス	17
5. その他の項目について	19
6. 在宅生活継続に向けた5つの検討項目における集計結果	21
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	23
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの検討	32
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	42
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	46
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	50



# 1. 調査概要

## (1) 調査目的

この調査は、令和6年度から令和8年度までの「三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（いきいき安心プラン 21）」の策定を行うにあたって、介護離職を防止する観点も踏まえたサービス提供体制を構築するため、「要介護者が安心して在宅生活を続けること」「家族等介護者の就労の継続」に有効な介護サービスの在り方を検討するために実施しました。

## (2) 調査の実施について

調査種類	在宅介護実態調査
対象者	三田市内に住む高齢者 1,200 人 (要支援・要介護認定を受けている方から無作為抽出)
実施期間	令和5年4月17日(月)から令和5年5月8日(月)
実施方法	郵送配布、郵送回収またはWEB回収(回収率向上のための礼状兼督促はがきを実施)
回収状況	配布数: 1,200 件 有効回収数: 758 件(郵送: 701 件、WEB: 57 件) 有効回答率: 63.2%

## (3) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中に MA (Multiple Answer)、3LA (3 Limited Answer) と記載しています。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合があります。
4. 厚労省が推奨する在宅介護実態調査の自動集計分析ソフト(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社作成)を用いて、回答結果と認定データを突合・集計しています。

## 2. 対象者の属性

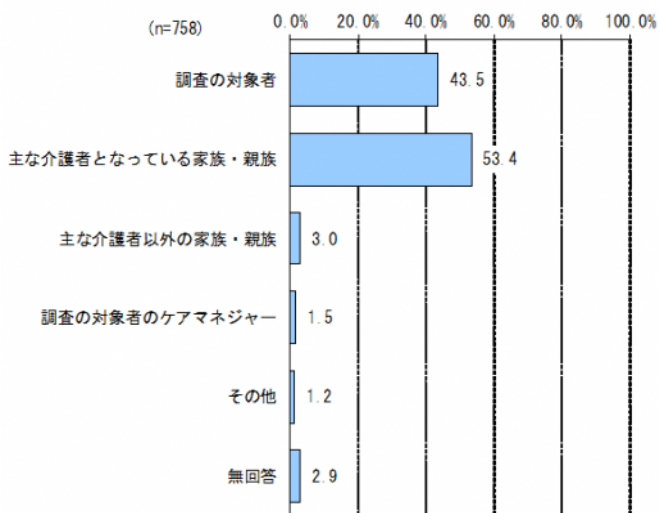
### (1) 回答の記入者

- 問1 現在、この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか。(いくつでも)

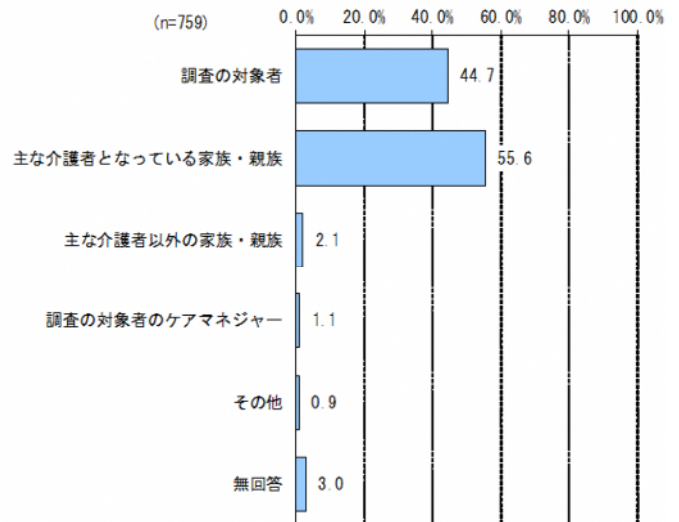
**【全体】**  
 ○ 調査の回答者について、「主な介護者となっている家族・親族」が53.4%で最も多く、次いで「調査の対象者」が43.5%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.0%となっています。

#### 【回答者(MA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



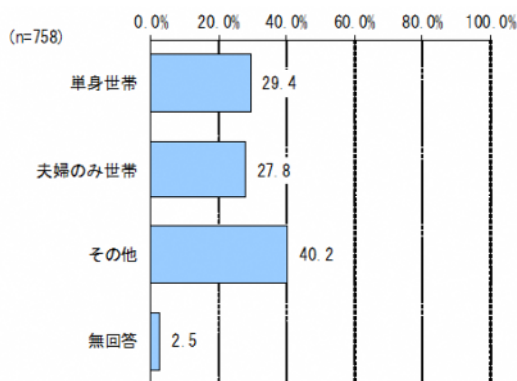
### (2) 世帯類型

- 問2 調査の対象者の世帯類型について、ご回答ください。(1つだけ)

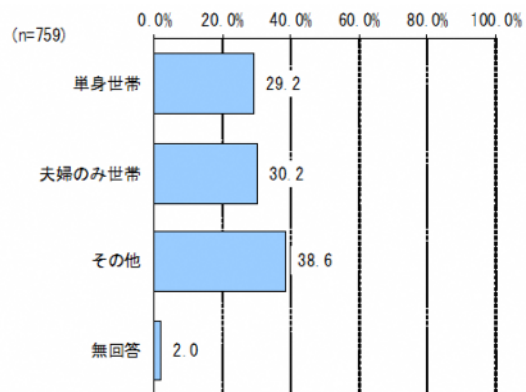
**【全体】**  
 ○ 世帯類型について、「その他」が40.2%で最も多く、次いで「単身世帯」が29.4%、「夫婦のみ世帯」が27.8%となっています。

#### 【世帯類型】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



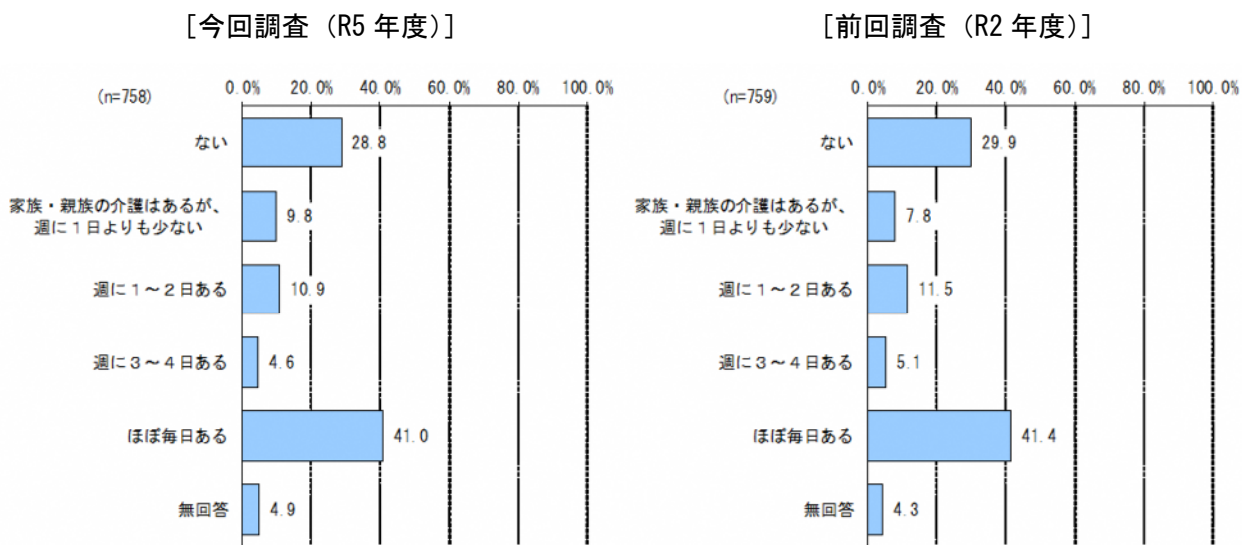
### 3. 家族等による介護について

#### (1) 介護の頻度

- 問3 調査の対象者は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。  
(1つだけ)

**【全体】**  
○ 介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が 41.0%で最も多く、次いで「ない」が 28.8%、「週に1～2日ある」が 10.9%となっています。

#### 【介護の頻度】



## (2) 主な介護者の属性

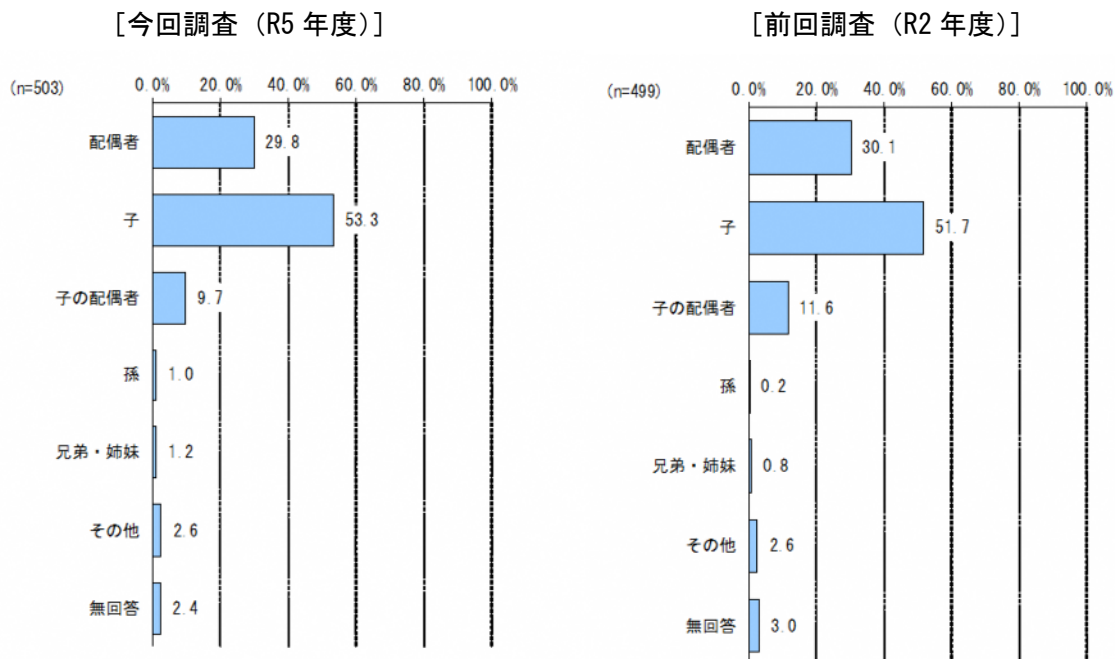
### ① 主な介護者

- 問4 「家族、親族から介護を受けている方のみ」調査の対象者を、主に介護している方は、どなたですか。(1つだけ)

#### 【全体】

- 主な介護者について、「子」が53.3%で最も多く、次いで「配偶者」が29.8%、「子の配偶者」が9.7%となっています。

#### 【主な介護者】



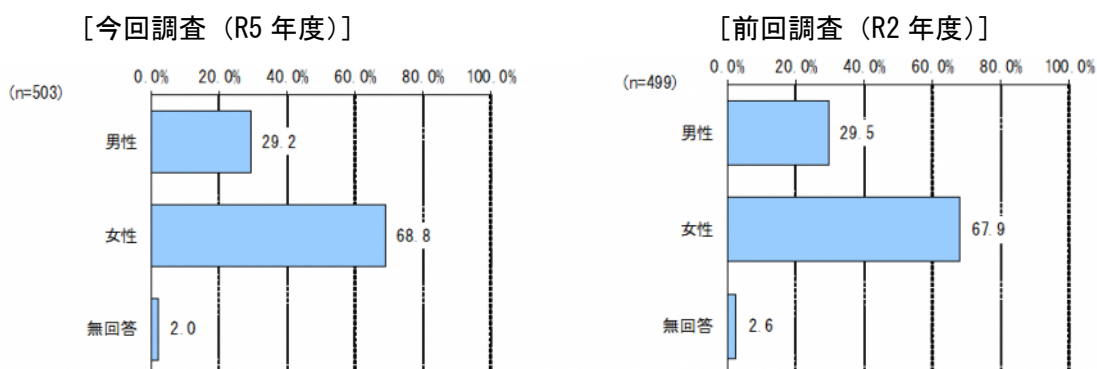
### ② 主な介護者の性別・年齢

- 問5 「家族、親族から介護を受けている方のみ」調査の対象者を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。(1つだけ)

#### 【全体】

- 主な介護者の性別について、「男性」が29.2%、「女性」が68.8%となっています。

#### 【主な介護者の性別】

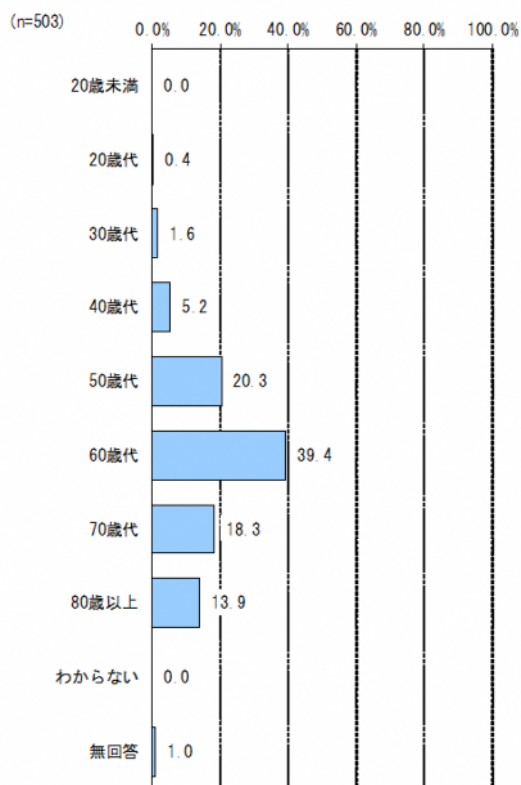


- 問6 [家族、親族から介護を受けている方のみ] 調査の対象者を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。(1つだけ)

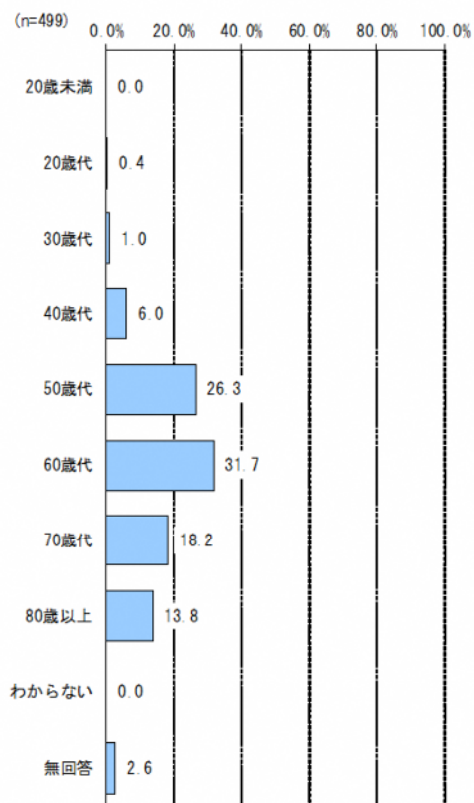
**【全体】**  
 ○ 主な介護者の年齢について、「60歳代」以上が71.6%となっています。  
 ○ 前回調査と比べると、「60歳代」以上は7.9ポイント多くなっています。

**【主な介護者の年齢】**

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



### (3) 主な介護者が行う介護の内容

#### ① 現在行っている介護

●問7 「家族、親族から介護を受けている方のみ」現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも)

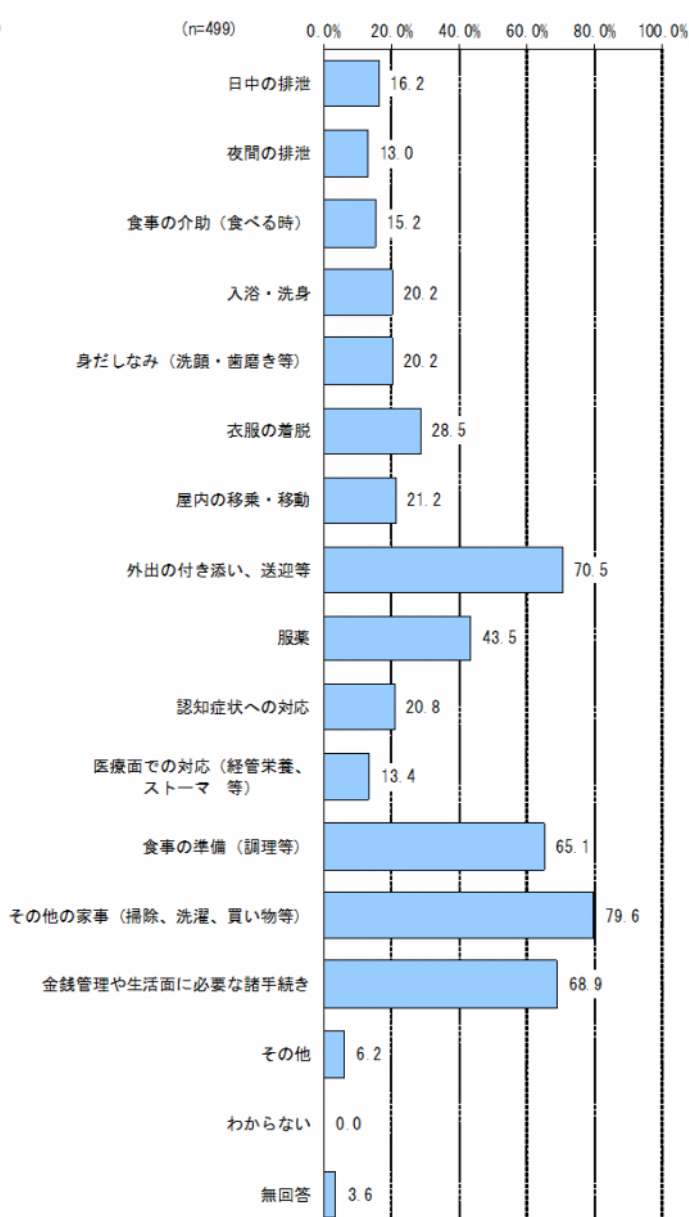
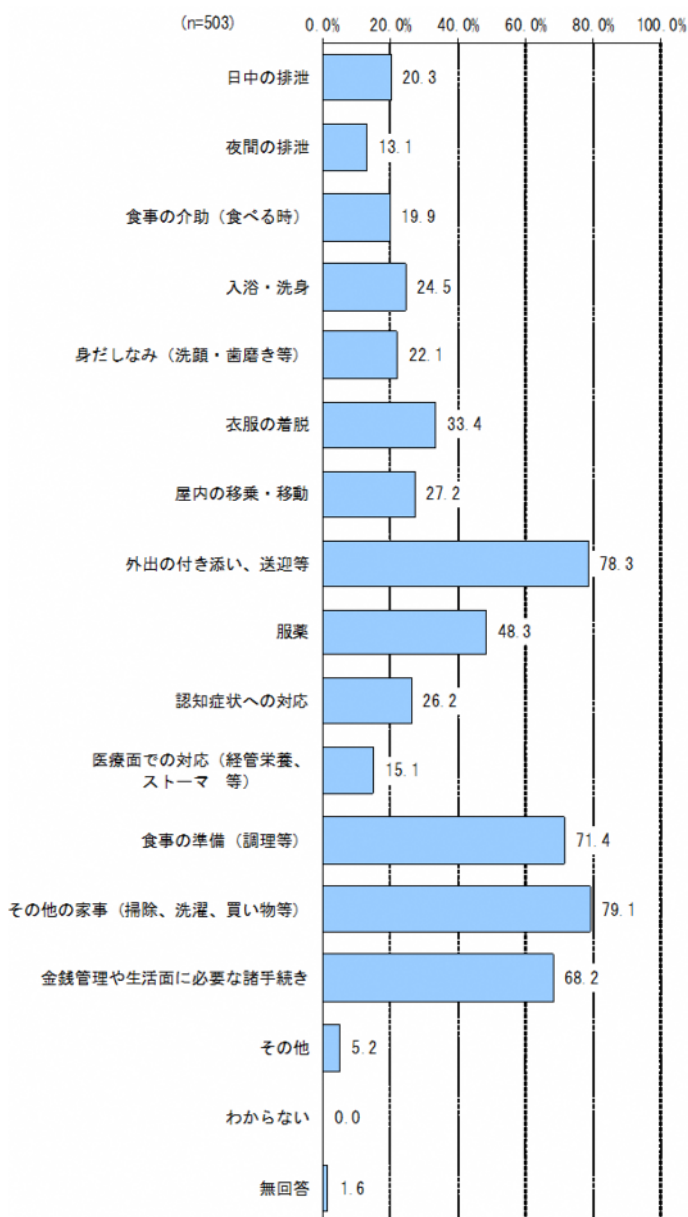
**【全体】**

- 主な介護者が行う介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 79.1%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 78.3%、「食事の準備（調理等）」が 71.4%となっています。
- 前回調査と比べると、「屋内の移乗・移動」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」で5ポイント以上多くなっています。

#### 【主な介護者が行う介護(MA)】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



## ② 不安に感じる介護

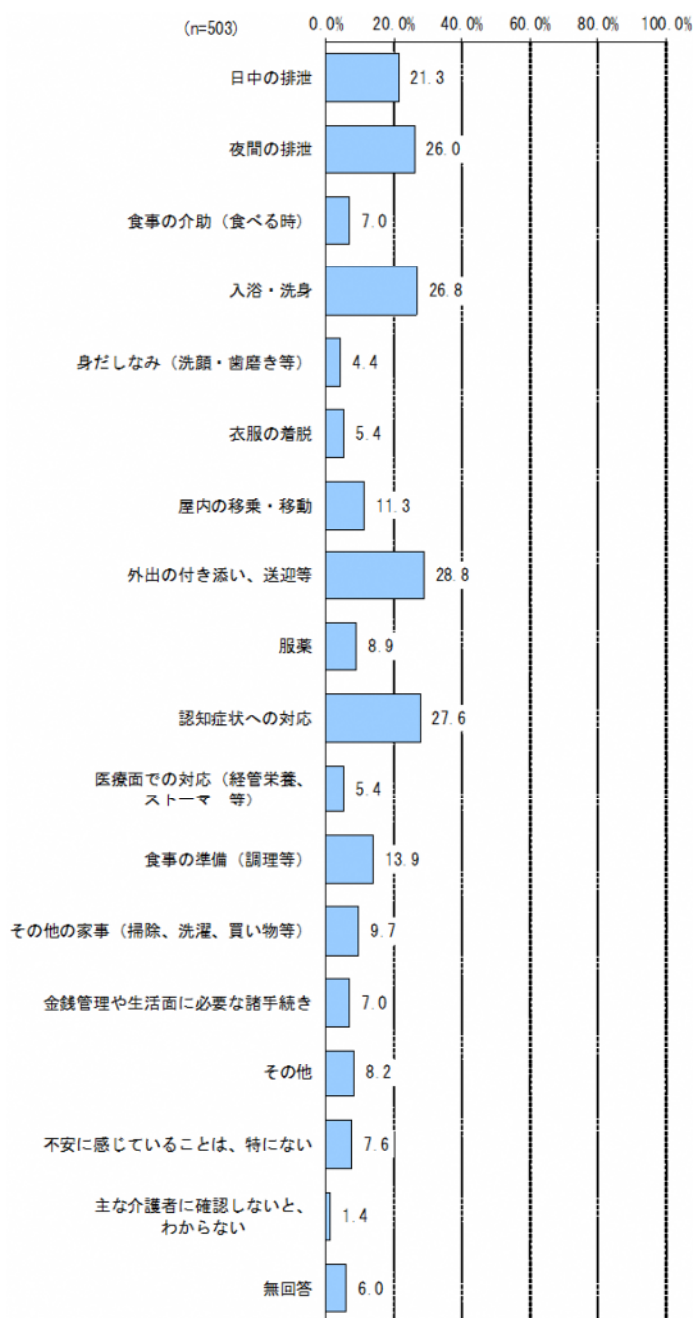
- 問21 「家族、親族から介護を受けている方のみ」現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（3つまで）

### 【全体】

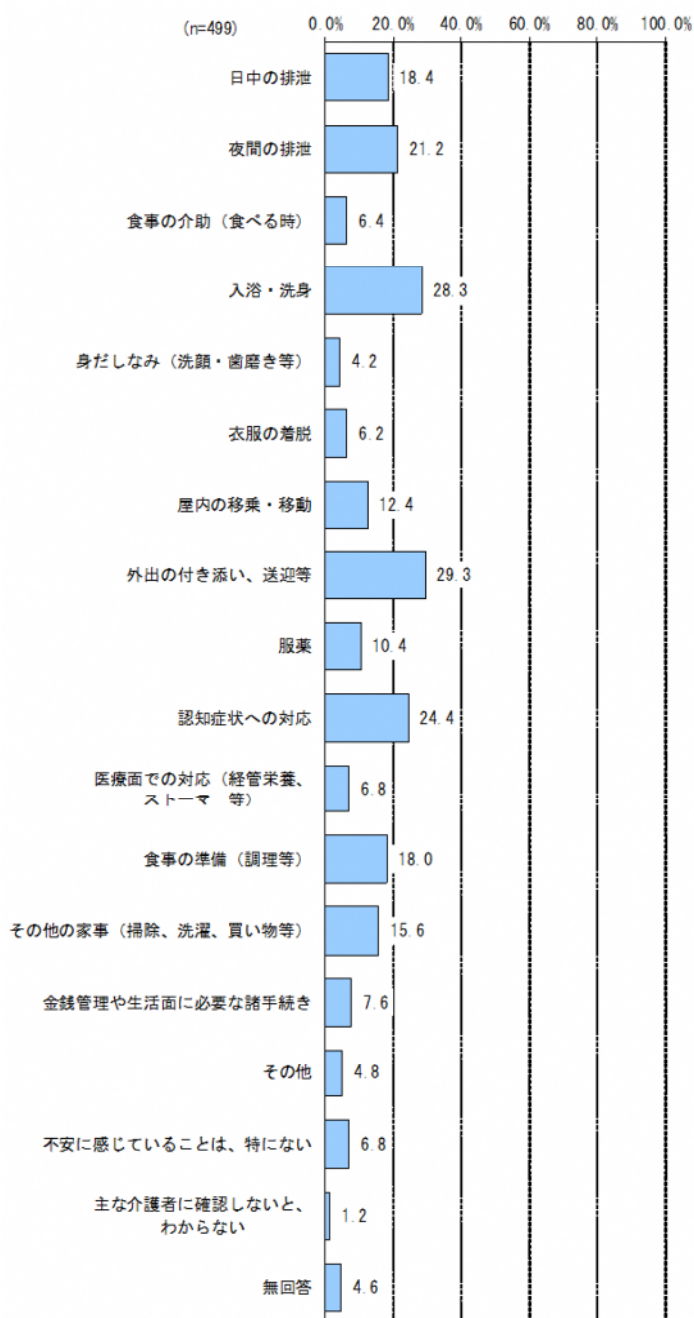
- 主な介護者が不安に感じる介護について、「外出の付き添い、送迎等」が28.8%で最も多く、次いで「認知症状への対応」が27.6%、「入浴・洗身」が26.8%となっています。
- また、「夜間の排泄」が26.0%、「日中の排泄」が21.3%となっており、前回調査と比べると排泄の割合が多くなっています。

### 【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)】

#### [今回調査 (R5 年度)]



#### [前回調査 (R2 年度)]



#### (4) 介護離職

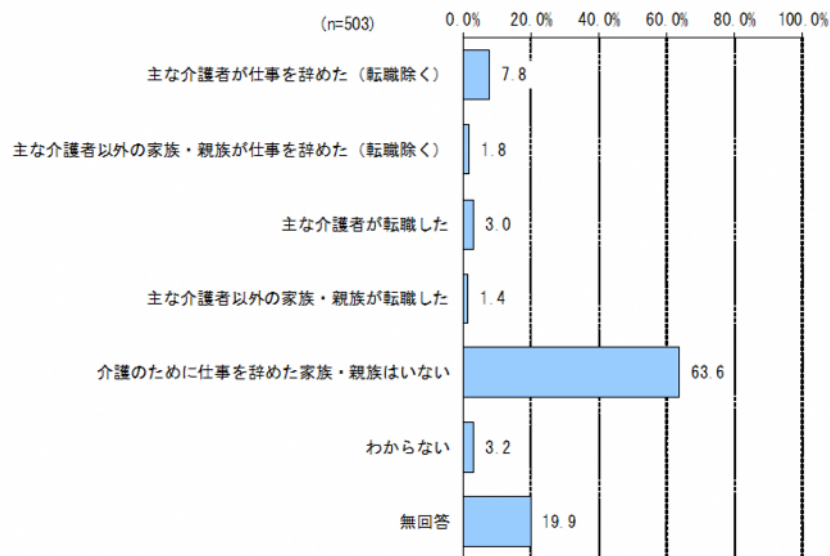
##### ① 介護離職者の有無

- 問8 「家族、親族から介護を受けている方のみ」 ご家族やご親族の中で、調査の対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(いくつでも)

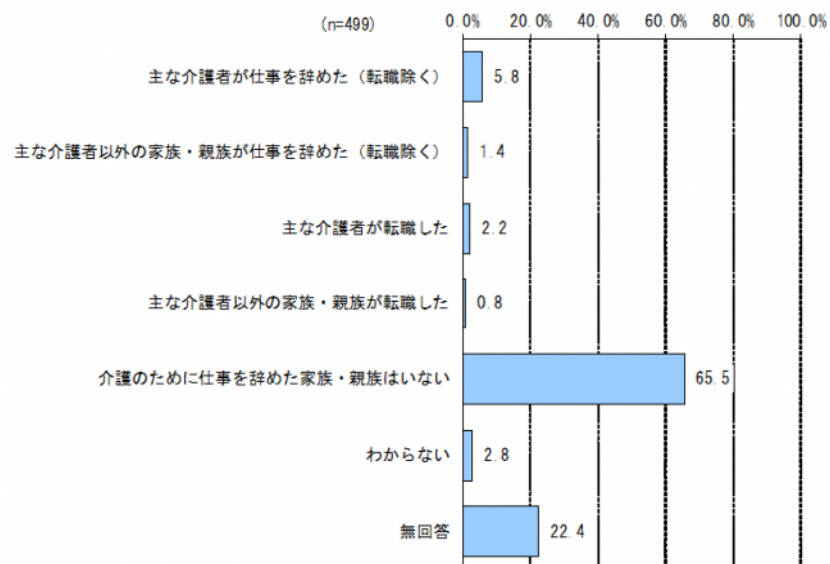
**【全体】**  
○ 介護離職について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が63.6%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が7.8%となっています。

##### 【介護離職(MA)】

###### [今回調査 (R5 年度)]



###### [前回調査 (R2 年度)]



## ② 主な介護者の勤務形態

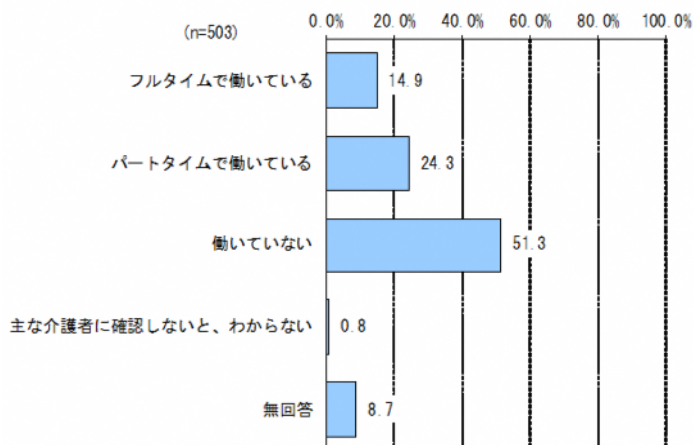
- 問17 [家族、親族から介護を受けている方のみ] 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ)

### 【全体】

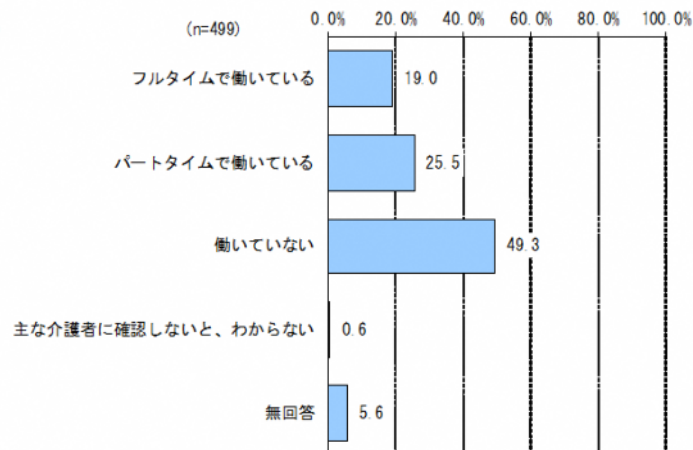
- 主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が51.3%で最も多く、次いで「パートタイムで働いている」が24.3%、「フルタイムで働いている」が14.9%となっています。

### 【主な介護者の勤務形態】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



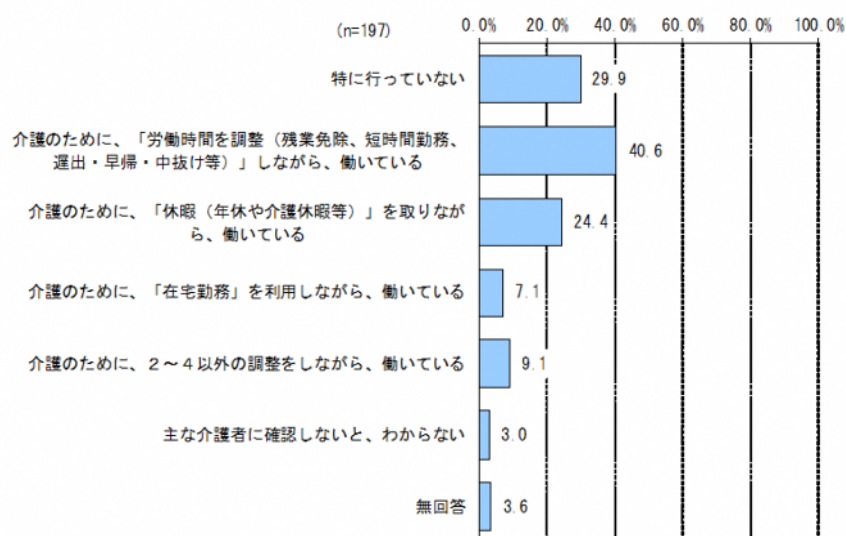
### ③ 働き方の調整

- 問18 [主な介護者が働いている方のみ] 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも)

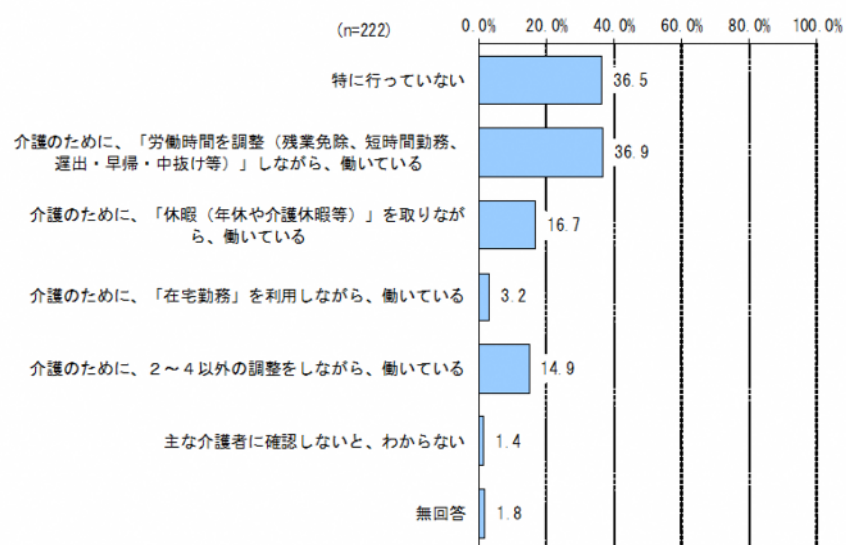
【全体】	
○	働き方の調整について、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が40.6%で最も多く、次いで「特に行っていない」が29.9%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が24.4%となっています。
○	前回調査と比べると、「特に行っていない」が6.6ポイント少なく、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が7.7ポイント多くなっています。

#### 【働き方の調整 (MA)】

##### [今回調査 (R5 年度)]



##### [前回調査 (R2 年度)]



#### ④ 今後の介護と仕事の両立

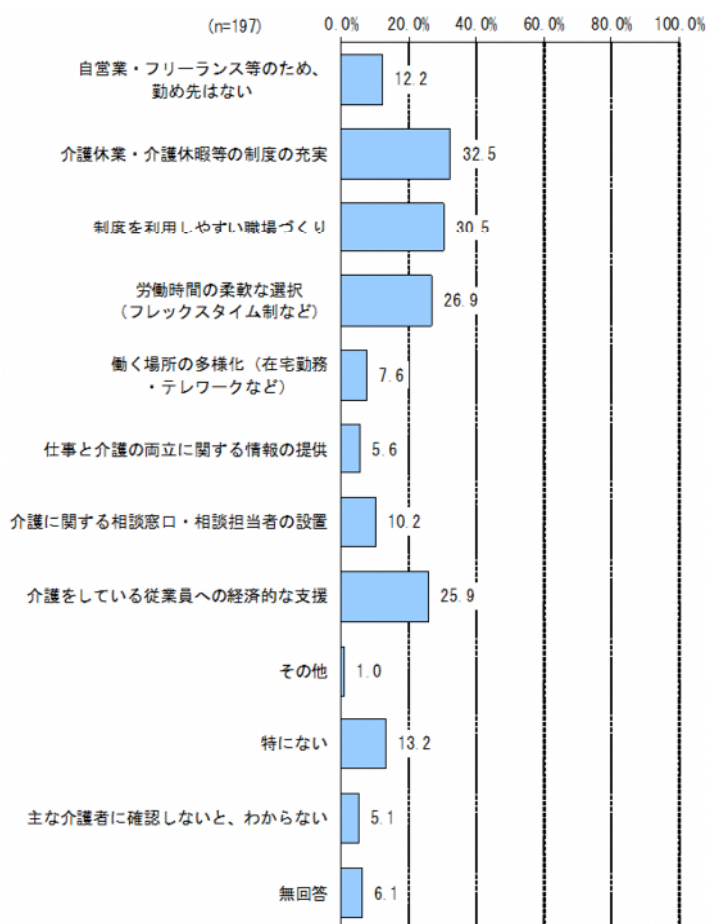
- 問19 [主な介護者が働いている方のみ] 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで)

**【全体】**

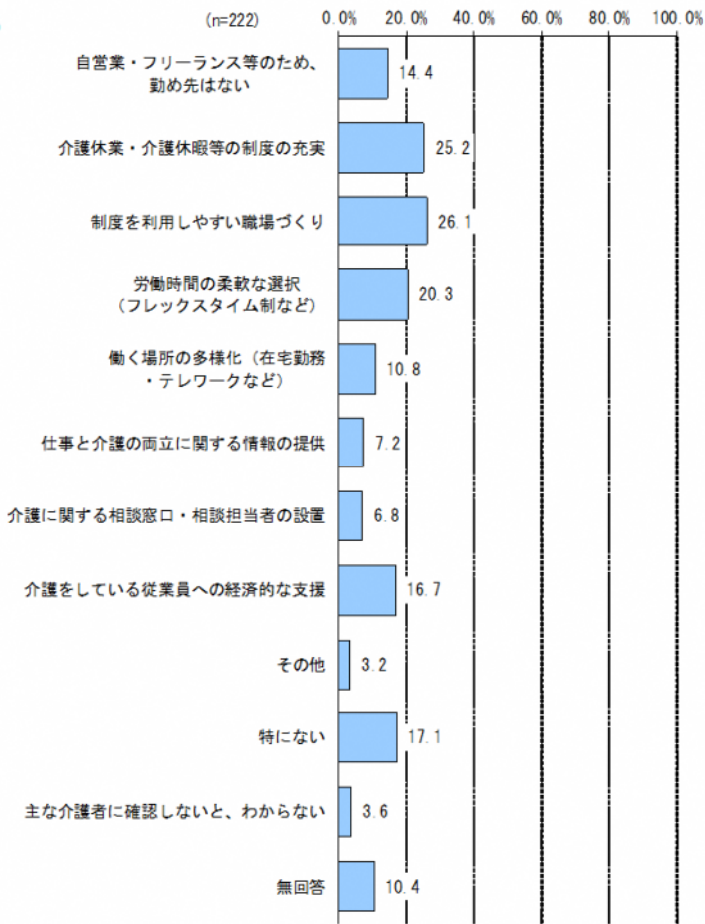
- 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 32.5%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が 30.5%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 26.9%となっています。
- 前回調査と比べると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「介護をしている従業員への経済的な支援」で5ポイント以上多くなっています。

#### 【仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援(3LA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



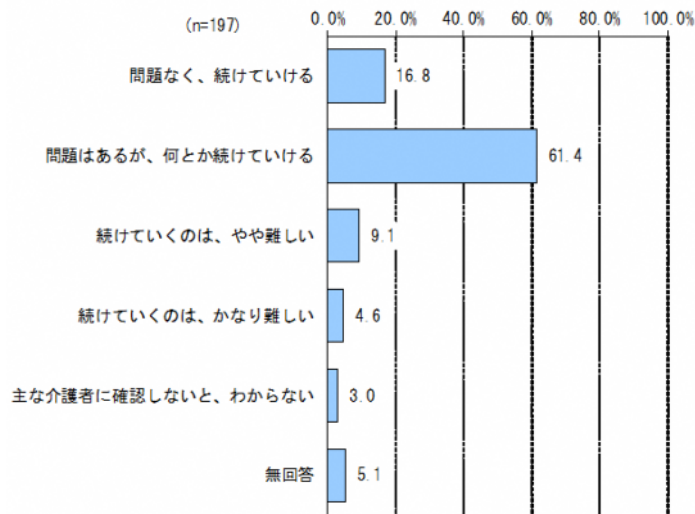
- 問20 [主な介護者が働いている方のみ] 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つだけ)

**【全体】**

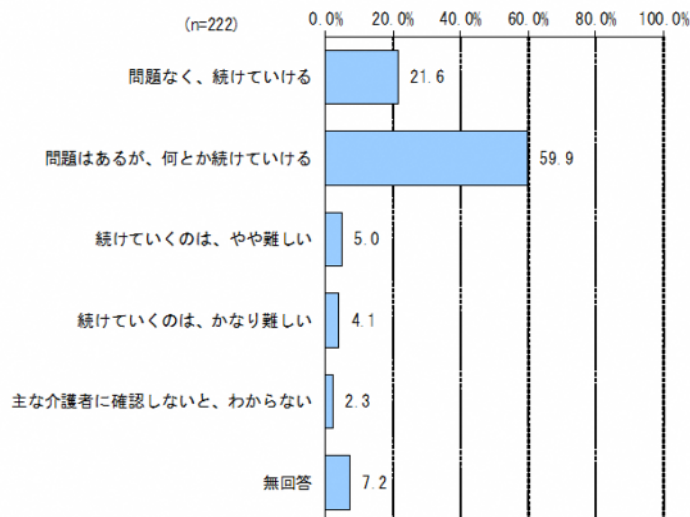
- 今後の仕事と介護の両立見込みについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が61.4%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が16.8%、「続けていくのは、やや難しい」が9.1%となっています。
- 前回調査と比べると、「問題なく、続けていける」が4.8ポイント少なく、「続けていくのは、やや難しい」が4.1ポイント多くなっています。

**【今後の仕事と介護の両立】**

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



## 4. 支援・サービスについて

### (1) 介護保険サービス以外の支援・サービス

#### ① 現在利用している支援・サービス

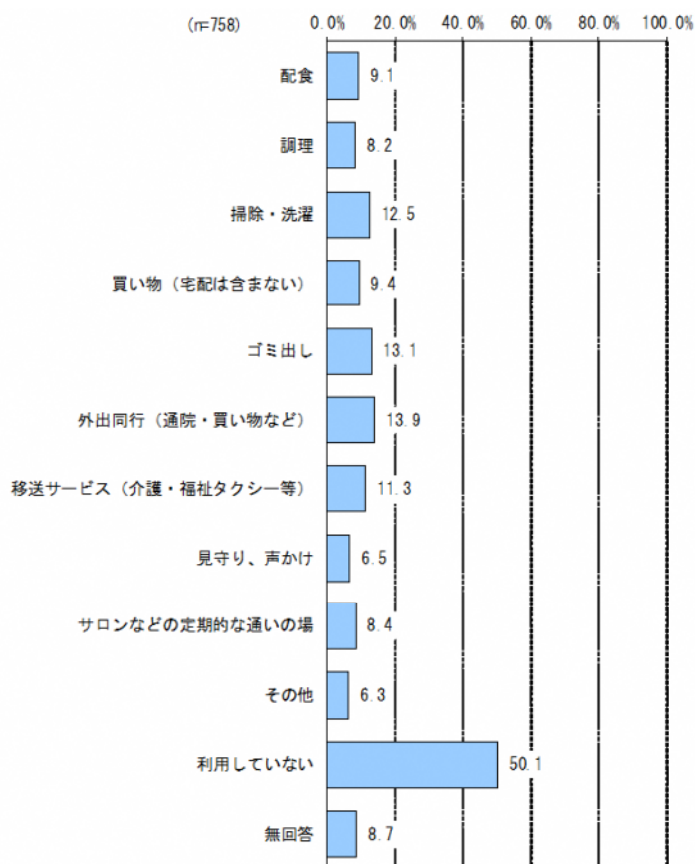
- 問9 現在、調査の対象者が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも)

#### 【全体】

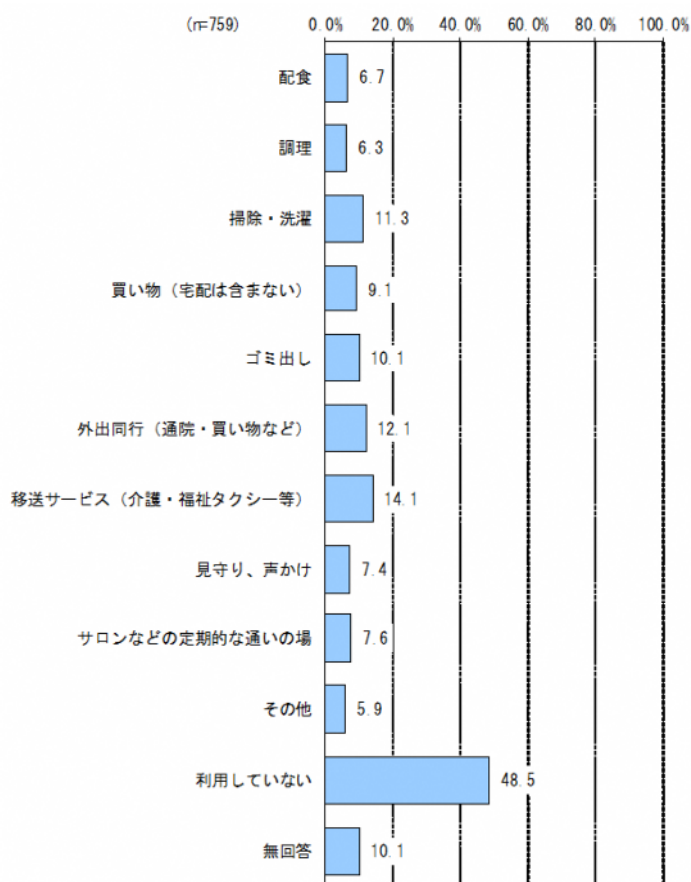
- 「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」が 50.1%で最も多く、次いで「外出同行（通院・買い物など）」が 13.9%、「ゴミ出し」が 13.1%となっています。

#### 【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA)】

##### [今回調査 (R5 年度)]



##### [前回調査 (R2 年度)]

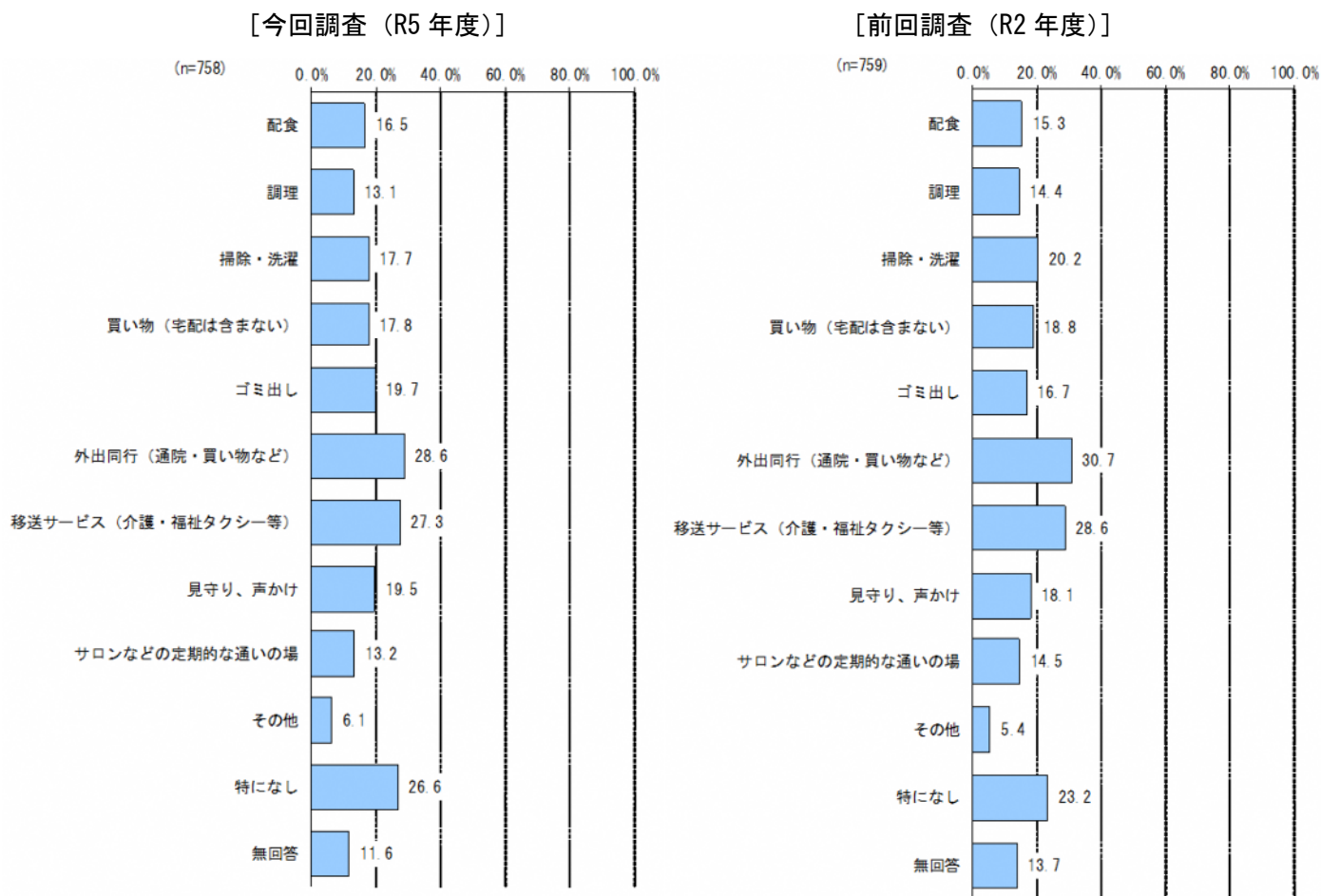


## ② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

- 問10 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（いくつかでも）

**【全体】**  
 ○ 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「外出同行（通院・買い物など）」が28.6%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.3%、「特になし」が26.6%となっています。

### 【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)】



## (2) 介護保険サービス

### ① 利用状況

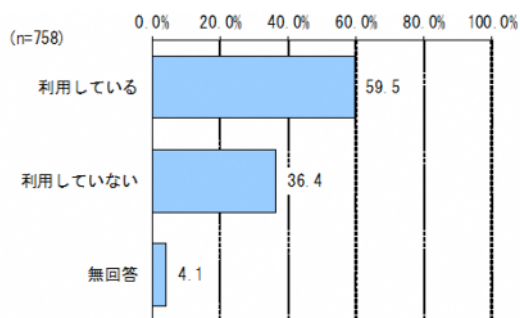
- 問14 調査の対象者は、現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用してありますか。（1つだけ）

#### 【全体】

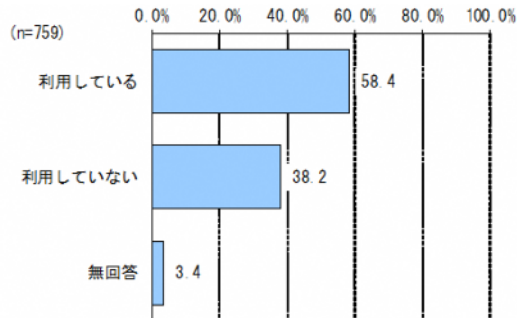
- 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が59.5%、「利用していない」が36.4%となっています。

#### 【住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



### ② 利用していない理由

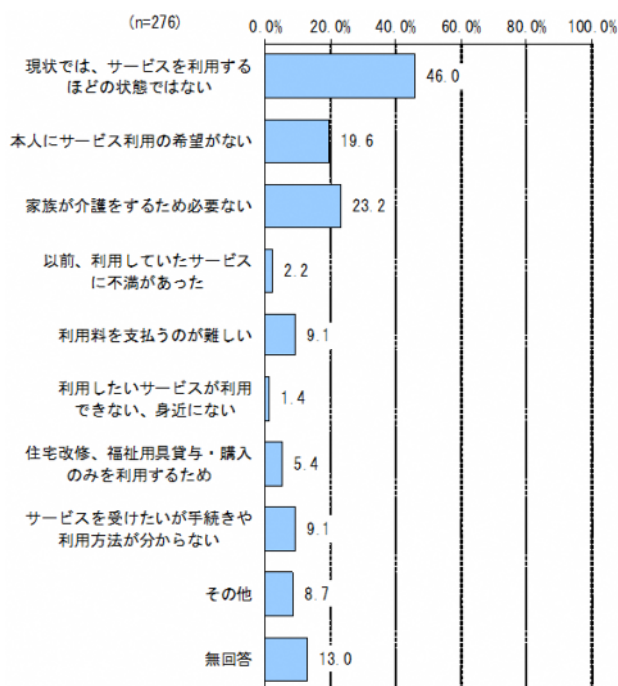
- 問15 [介護保険サービスを利用していない方のみ] 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（1つだけ）

#### 【全体】

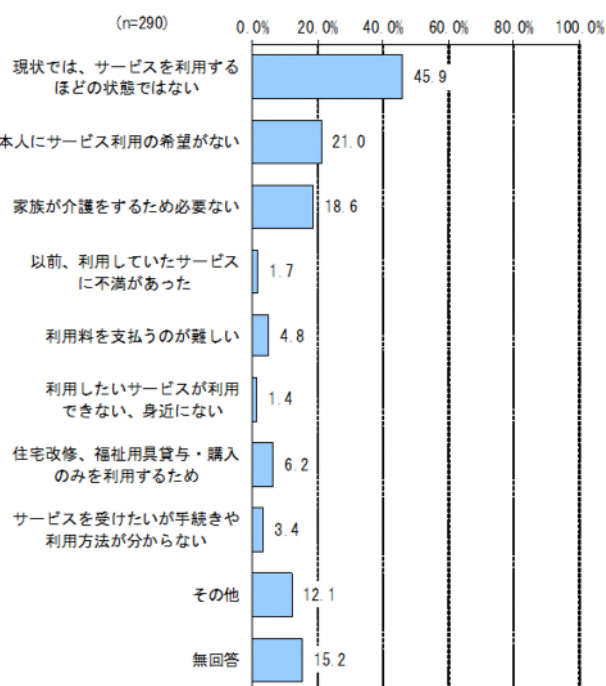
- 介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が46.0%で最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が23.2%、「本人にサービス利用の希望がない」が19.6%となっています。

#### 【介護保険サービスを利用していない理由(MA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



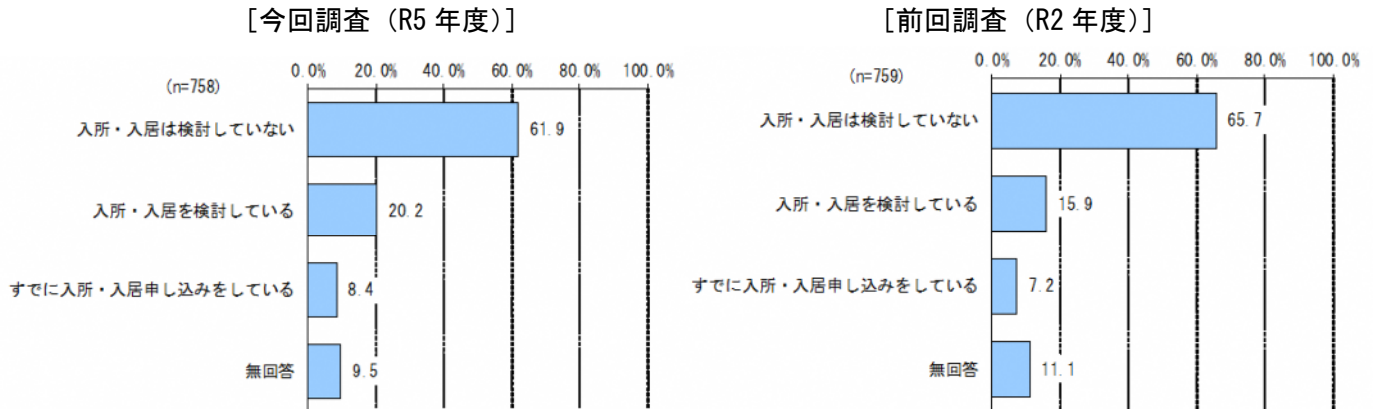
### (3) 施設等への入所・入居の検討状況

- 問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つだけ)

**【全体】**

- 施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が61.9%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が20.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が8.4%となっています。
- 前回調査と比べると、「入所・入居を検討している」が4.3ポイント多くなっています。

#### 【施設等への入所・入居の検討状況】



#### (4) 医療的な支援・サービス

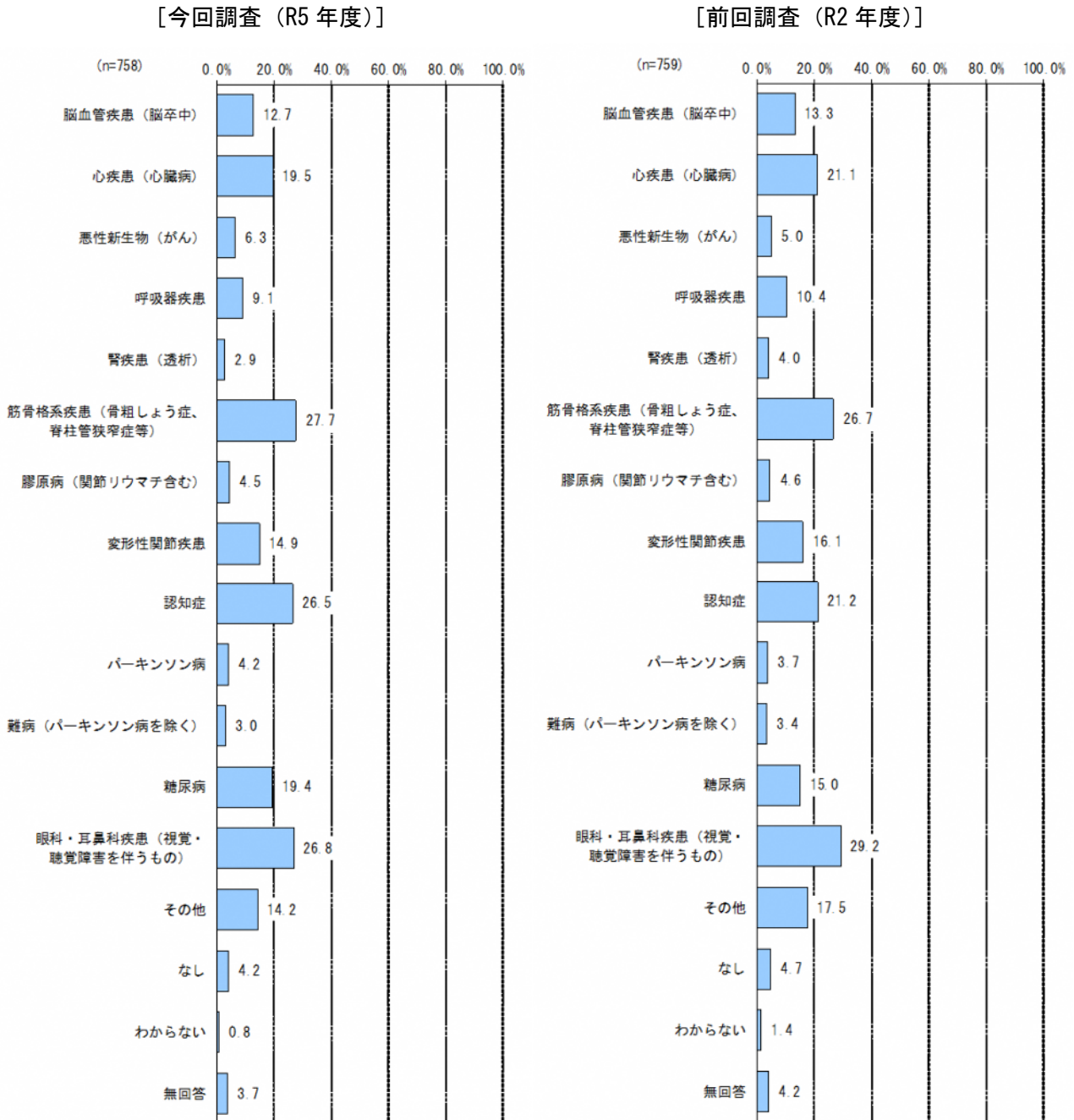
##### ① 現在抱えている傷病

●問12 調査の対象者が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも)

**【全体】**

- 現在抱えている傷病について、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が27.7%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が26.8%、「認知症」が26.5%となっています。
- 前回調査と比べると、「認知症」が5.3ポイント多くなっています。

#### 【現在抱えている傷病(MA)】



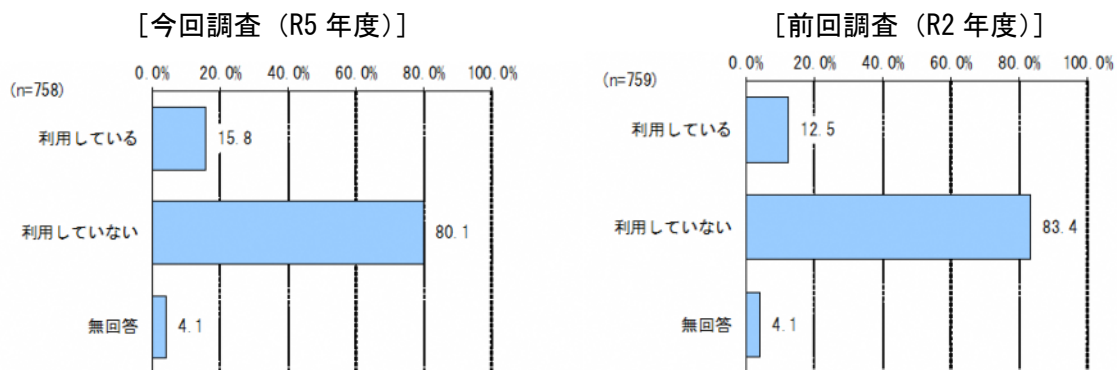
## ② 訪問診療の利用状況

●問13 調査の対象者は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つだけ)

### 【全体】

○ 訪問診療の利用状況について、「利用している」が15.8%、「利用していない」が80.1%となっています。

### 【訪問診療の利用状況】



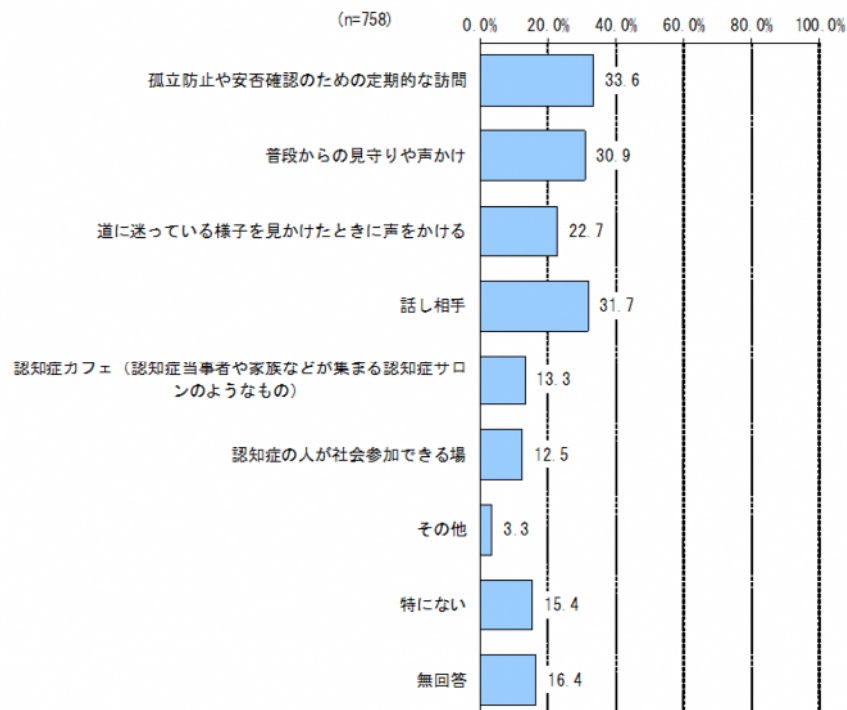
## 5. その他の項目について

- 問16 認知症の人及びその家族にとって、あればよいと思う地域での支援について、ご回答ください。(3つまで)

### 【全体】

- 認知症の人及びその家族にとってあればよいと思う地域の支援について、「孤立防止や安否確認のための定期的な訪問」が 33.6%で最も多く、次いで「話し相手」が 31.7%、「普段からの見守りや声かけ」が 30.9%となっています。

### 【認知症の人及びその家族にとってあればよいと思う地域の支援(3LA)】



- 自由意見 介護保険制度や保健福祉施策について、またはご自身のことでも自由にご記入ください。

主な意見	
介護保険制度全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度は必要な制度だと思う</li> <li>・介護保険にお世話になり助かっている</li> <li>・利用者負担を見直してほしい</li> <li>・サービス利用回数、適用範囲を見直してほしい</li> <li>・財政基盤が心配</li> <li>・手続きを簡素化してほしい</li> <li>・介護保険料が高く生活が苦しい</li> <li>・サービス非利用者は介護保険料を減額してほしい</li> <li>・認定審査にばらつきがある、基準に疑問がある</li> <li>・介護保険制度やサービスの分類、利用方法がわからない</li> </ul>
介護保険サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービスを利用して助かっている</li> <li>・定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の24時間対応サービスが普及してほしい</li> <li>・できないと言われることが多く臨機応変に対応してほしい</li> <li>・レスパイト入院が介護保険でできればありがたい</li> <li>・デイケアと病院受診を同日に行いたい</li> <li>・ショートステイができる施設を増やしてほしい</li> <li>・介護付きマンション、老人ホームに入居したい</li> <li>・施設に入所しても、いつでも面会できるようにしてほしい</li> </ul>
高齢福祉・生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的支援を充実してほしい</li> <li>・紙おむつの現物支給または補助が必要</li> <li>・配食サービス</li> <li>・市が支給するタクシーチケットだけでは足りず移動手段に困る</li> <li>・移送、送迎サービスを充実してほしい</li> <li>・日常の困りごと（風呂掃除、栄養面、爪切り、入浴、買い物、必要なものが取れない等）がある</li> </ul>
相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーに助けられている</li> <li>・窓口の担当者、ケアマネジャー、医者等、忙しく相談できないことが多い</li> <li>・気軽に相談できる場所、電話があればよい</li> <li>・急な体調不良時や医療的な相談ができるところがほしい</li> <li>・相談先を周知してほしい</li> </ul>
介護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者向けの講習会を開催してほしい</li> <li>・本人の介護・医療拒否に困っている</li> <li>・認知症の介護に困っている</li> <li>・誰を頼っていいのかわからない</li> <li>・介護者が心身ともに休めるサービスがほしい</li> <li>・介護休職制度を見直してほしい（介護度の制限があり介護していても休職できない）</li> <li>・安心して働きに行けるサービスがほしい</li> <li>・経済的に厳しい</li> </ul>
認知症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェの曜日、時間を増やしてほしい</li> <li>・認知症と他の障害がある人の施設があればよい</li> <li>・周囲、近所の人の認知症理解が少ない</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護できなくなったら／介護者がいなくなったらと思うと不安</li> <li>・役所等から届く書類の文章が難解であり平易な表現にしてほしい</li> <li>・近所の人たちに助けられている</li> </ul>

## 6. 在宅生活継続に向けた5つの検討項目における集計結果

本章では、国が示す在宅介護実態調査を活用した5つの検討項目についての集計を掲載しています。5つの検討項目と集計・分析のねらいは以下の通りとなっています。

視点	検討項目	集計・分析のねらい
要介護者の在宅生活の継続	(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	主に「施設の入所・入居の検討状況」「介護者が不安に感じる介護」「サービス利用状況」を指標とし、在宅生活の継続が困難になり得る状況と、利用によって介護者負担が軽減される可能性のあるサービスを把握することで、在宅限界点の向上のため（在宅介護をより長く継続するため）の支援・サービスの提供体制を検討するための資料とする。
介護者の就労継続	(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの検討	主に「主な介護者の勤務形態」「今後の仕事と介護の両立見込み」を指標とし、就労の継続が困難になり得る状況と、就労の継続に有効と思われる支援を把握することで、仕事と介護の両立に向けた支援・サービスを検討するための資料とする。
支援・サービス提供体制の検討	(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	主に「「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況」「在宅生活の継続に必要な支援・サービス」を指標とし、保険外の支援・サービスの現在の需要と供給のバランスを把握することで、今後の地域資源整備を検討するための資料とする。
	(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	主に「世帯類型」「サービス利用状況」「施設の入所・入居の検討状況」を指標とし、世帯類型ごとの特徴を把握することで、将来の世帯類型の変化に応じて支援・サービスの提供体制を検討するための資料とする。
	(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	主に「医療面での対応を行っている介護者」「訪問診療の利用状況」を指標とし、医療ニーズの高い在宅療養者と、訪問診療を利用する人の特徴を把握することで、医療ニーズの高い在宅療養者への支援・サービスの提供体制を検討するための資料とする。

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 認定データと突合ができない回答及び無回答を除いた集計となっています。
2. 介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」「通所系」「短期系」の3つに分類して集計しています。それぞれの用語の定義は以下の通りです。いずれも介護予防を含みます。
  - ・未利用：住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用
  - ・訪問系のみ：「訪問系（訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護）」、定期巡回・随時対応型訪問介護看護のいずれかのみを利用
  - ・訪問系を含む組み合わせ：上記「訪問系」、下記「通所系」、小規模多機能型居宅介護を組み合わせ利用
  - ・通所系・短期系のみ：「通所系（通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護）」、「短期系（短期入所生活介護、短期入所療養介護）」のいずれかのみを利用

3. 一部の分析において使用している「認知症自立度」は、認定調査と主治医意見書に基づき、介護認定審査会において最終的に決定された認知症高齢者の日常生活自立度を指しています。なお、日常生活自立度の各区分の判断基準やみられる症状・行動の例は以下の通りです。（認定調査員テキスト 2009 改訂版より）

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記 II の状態がみられる。	たびたび道に迷う、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記 II の状態がみられる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さがみられ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記 III の状態がみられる。	着替え、食事、排尿が上手にできない、時間がかかる。やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記 III の状態がみられる。	ランク III a に同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁にみられ、介護を必要とする。	ランク III に同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

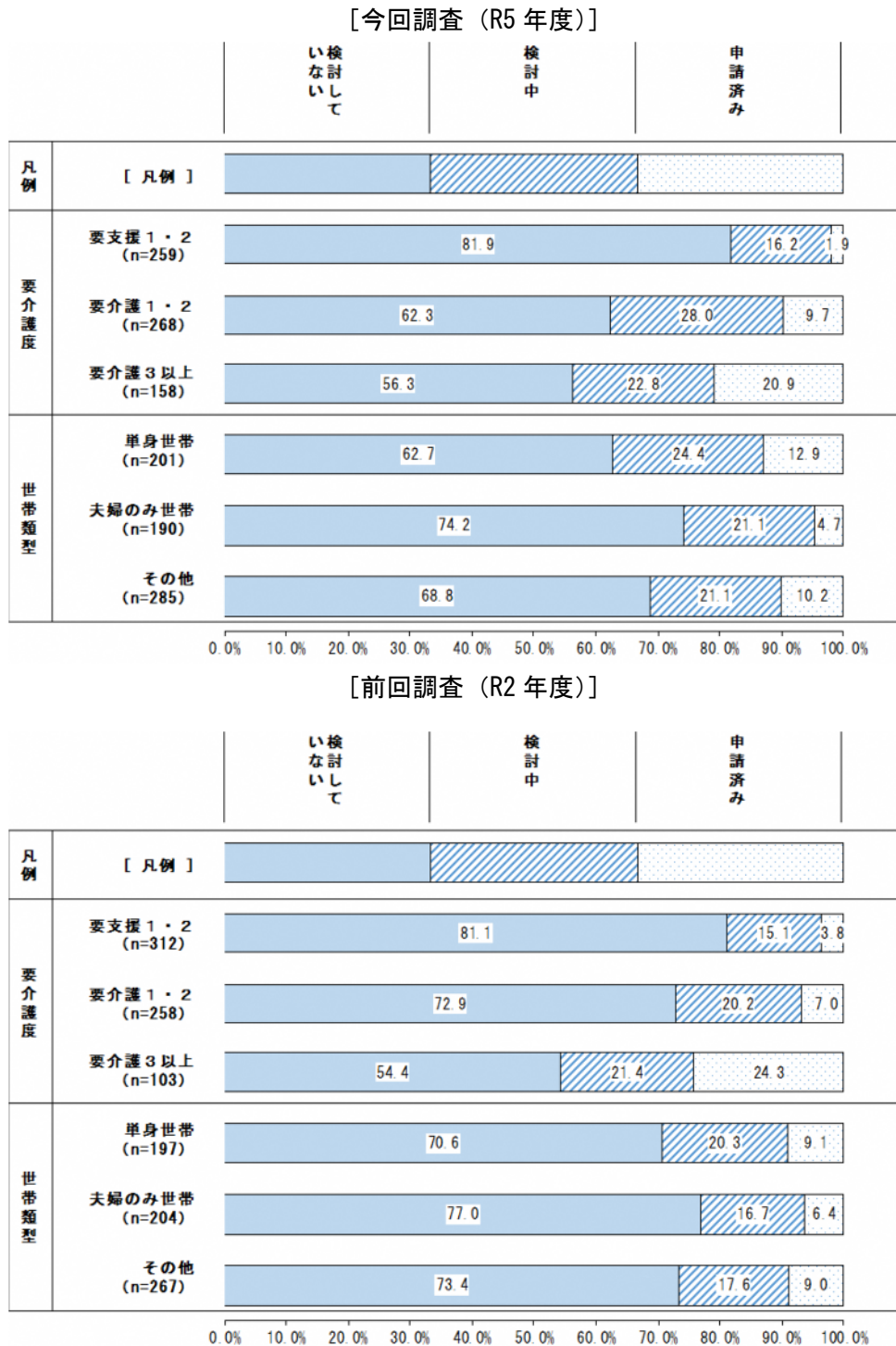
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

① 施設等への入所・入居を検討する状態

**【要介護度】**  
 ○ 要介護3以上では、「検討中」が22.8%、「申請済み」が20.9%となっています。前回調査と比べると、要介護1・2で「検討中」が多くなっています。

**【世帯類型】**  
 ○ 単身世帯では、「検討中」が24.4%、「申請済み」が12.9%となっています。前回調査と比べると、単身世帯で「検討中」「申請済み」が多くなっています。

**【施設等への入所・入居の検討状況】**



## ② 在宅限界点となり得る介護の内容

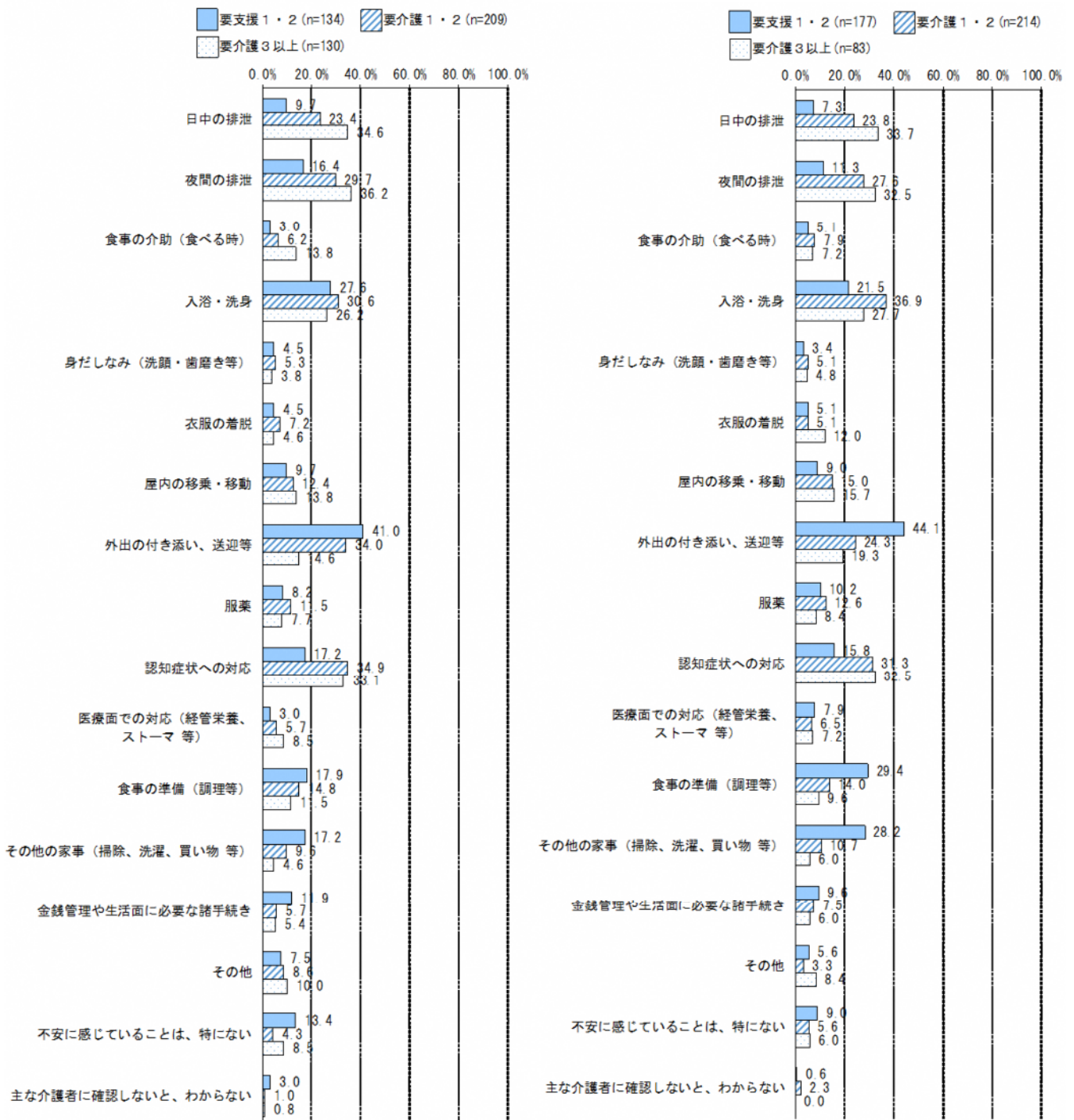
### 【要介護度】

- 要支援1・2では、「外出の付き添い、送迎等」が41.0%で最も多くなっています。
- 要介護1・2では、「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」が3割以上と多くなっています。
- 要介護3以上では、「日中の排泄」「夜間の排泄」「認知症状への対応」が3割以上と多くなっています。
- 前回調査と比べると、要支援1・2、要介護1・2の「入浴・洗身」、要介護1・2の「外出の付き添い、送迎等」が多くなっています。

### 【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



【認知症自立度】

○ 認知症自立度Ⅱ以上で「認知症状への対応」が4割以上と多くなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]

